

令和8年度 環境計量体験学習 開催報告

一般社団法人大阪府計量協会

一般社団法人大阪府計量協会と大阪府計量検定所の共催による「環境計量体験学習」が、8月4日（火）に大阪府計量検定所にて開催されました。府内在住または在学中の中学生とその保護者が参加し、アンケートでは「計量士の説明がわかりやすかった」「普段できない体験ができて勉強になった」など、大変ご好評をいただきました。

当日は、液体の透明度調査や身近な「水」の硬度測定を通じて、環境計量の仕事を体験しました。

まず、一般財団法人関西環境管理技術センターの環境計量士から仕事内容についての講義を受けた後、透視度計の役割と使用方法を学び、実際に器具の製作に取り組みました。完成後は、自作した透視度計を使って測定を行い、環境計量士の測定値との違いを確認しました。

後半では、水の硬度に関する講義に続き、その違いを体感するための「利き水」を行いました。市販の5種類の水を試飲して硬度の低い順に並べ、最後に答え合わせをすることで、水の硬度への理解を深めました。



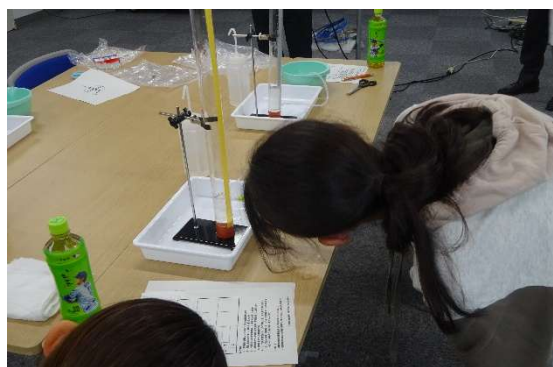
環境計量士の仕事に関する講義



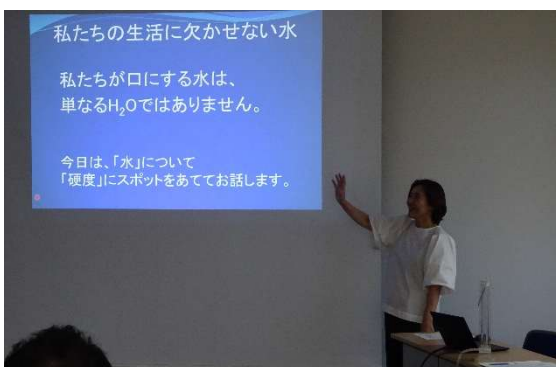
透視度計の役割と使用方法の講義



透視度計の製作



透視度の測定



水の硬度に関する講義



「利き水」